

7 研究指導プロセス概要

スポーツ科学専攻【博士前期課程（修士課程）】

時期	項目	内容・目的等	
入学前 (入学試験時)	希望する指導教員の届け出	<ul style="list-style-type: none"> ●志願書提出前に、希望する学系（研究希望領域）と指導教員を決め、希望する指導教員と面談の上、学系および研究計画案を確認 ●希望する指導教員を含み、研究計画案や研究領域に関する面接・口頭試問 ●研究科委員会にて入学試験合否判定と仮の指導教員を決定 	
1 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス 個別履修指導・相談	<ul style="list-style-type: none"> ●教員紹介および大学院での学修に関する基本的事項の説明【2時間程度】 ●上記ガイダンスの後、指導教員を正式決定、指導教員による履修指導（履修相談）※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須
	(1～2年次) 所属する学系、および指導教員の演習科目を履修 必修科目22単位を含む32単位以上を履修	<ul style="list-style-type: none"> ●修士課程2年間にわたり、所属する学系の「セミナー」及び指導教員の「研究指導」を履修 <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の作成と提出 ・教員指導の下で研究活動進行 ・修士論文の執筆方法等の確認 ●なお、指導教員による研究指導は、学生の状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる 学系および指導教員の変更には、研究科委員会での承認が必要（随時）	
	9月中旬	「修士論文経過報告会」参加 修士課程2年次生が報告	<ul style="list-style-type: none"> ●修士課程2年次生による報告会に参加（発言・質問可） <ul style="list-style-type: none"> ・自身の研究活動の参考にする ・自身が2年次に行くことを具体的にイメージする ・他者の研究内容・方法・成果を知り、知識や考えを深める
	2月上旬	「修士論文最終試験（報告会）」参加 修士課程2年次生が報告	<ul style="list-style-type: none"> ●修士課程修了予定者による最終試験（報告会）を傍聴 <ul style="list-style-type: none"> ・自身の研究活動の参考にする ・自身が2年次に行くことを具体的にイメージする ・他者の研究内容・方法・成果を知り、知識や考えを深める
	秋学期中	修士論文テーマ決定	●指導教員との討論を経て修士論文テーマを決定
	2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス 個別履修指導・相談 修士論文計画書提出（第1回）
7月上旬		修士論文計画書提出（第2回）	（4月の第1回で提出できなかった者）
9月上旬		修士論文経過報告書提出	<ul style="list-style-type: none"> ●記載内容は、タイトル、研究目的、研究方法、現時点での進行状況、問題点など※提出には指導教員の承認が必要 ●副指導教員を最終決定 ●経過報告会に先立ち研究科教員に事前配付
9月中旬		修士論文経過報告会	<ul style="list-style-type: none"> ●発表および質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：研究科教員の他、修士課程学生・博士後期課程学生 ・評価者：研究科教員（指導教員含む） ・スライド発表【5分】：プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）および配付文書（レジュメ等）を用いて発表。その時点での研究の進捗状況・成果および疑問点・今後の研究計画等について説明 ・ポスター発表【90分程度】：幅広く教員および参加者（他の大学院学生）からの質疑応答・評価・助言・指導を受ける ●修士論文の提出資格審査 <ul style="list-style-type: none"> ・研究科委員会で協議し、スライド発表およびポスター発表において一定水準に達していると判断された学生は修士論文の提出資格を得る （※一定水準に達していないと判断された場合には、後日に再度報告を行わなければならない。再度の報告においても一定水準以下であった場合には修士論文の提出資格を失う）
9月～1月		修士論文執筆	
1月中旬		修士論文提出	●定められた期間内に、修士論文（英文抄録を含む）および学位申請書類を教務センター（大学院係）に提出

時 期	項 目	内 容・目 的 等
2 年 次	1月中旬	修士論文受理 ●提出論文の受理（1月定例スポーツ科学研究科委員会にて） ●研究科は、学位審査委員会を組織（主査1名・副査2名の決定。原則として、主査は指導教員が、副査1名は同学系の副指導教員が、また他の副査1名は他学系の教員が務める）
	2月上旬	最終試験実施 ●最終試験ならびに学力確認の実施 ・参加者：研究科教員（他、修士課程学生・博士後期課程学生なども傍聴可能） ・最終試験は口頭試問により実施（10分のプレゼンテーションと5～10分の質疑応答） ・評価者：主査1名・副査2名を含む研究科教員
	2月中旬	学位審査委員会による評価 ●学位審査委員会での評価は、審査員3名の合議により決定 ●学位審査委員会が審査結果報告書を作成し、スポーツ科学研究科委員会に提出 ●この間に論文を公示
	2月下旬	合否決定 ●スポーツ科学研究科委員会が審査結果報告書に基づき審議し、合否を決定

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院スポーツ科学研究科修士学位審査に関する内規」に定める。